

2023 年度研究者交流支援制度実施報告書  
(当初 2021 年度採択, 新型コロナの影響のため 2023 年実施)

経営学部専任教授 清水一之

1. 招聘者 清水一之 (経営学部教授)
2. 被招聘者 マイケル・モーレイ氏 (アイルランド, リムリック大学教授)
3. 招聘期間 2023 年 10月6日~10月14日

#### 4.目的

Michael Morley 教授は, Kemmy Business School で人事労務管理論を担当しています。私は 2016 年から 2018 年にかけて, アイルランドでの在外研究期間中, マイケル教授と共に研究を行いました。私の研究テーマはドイツのコーポレート・ガバナンスですが, 研究発表はグローバル化の影響を受け, 英語を中心とした発表が主流となっています。特に, 評価の高い研究はアメリカの Academy of Management (AOM) 学会で報告されることが多いです。このような状況の中, EU (特にドイツ) に関する研究者として, Brexit 後の EU 圏内でアイルランドが持つ有意義な地域性に注目しています。アイルランドは, Brexit が行われた中で唯一の EU 内英語圏国家であり, アメリカにおけるアイルランド系移民は本国の人口の約 7 倍, 約 3600 万人 (アメリカ総人口の約 12%, 白人層の大多数を占めています)。このような背景から, 日本企業がアメリカ市場を重視し, 今後の EU 地域での展開を考える上で, Morley 教授との協業は重要です。

以下の講演会では, 中央および東ヨーロッパのポスト社会主義地域における人的資源管理の歴史のおよび現代的な側面の重要な点を概観しました。その特徴は, 著者らが 2004/5 年から 2014/15 年までの 3 サイクルにわたる Cranet データを使用して, 組織の HRM 戦略と地域内の実装の特定の側面について詳細なレビューを提供している点です。ロシアによるウクライナ侵攻を受けて, 上述の研究は, 我々が旧ソ連影響下にあった, 現在の EU 圏に位置づけられる東ヨーロッパ地域の人事労務管理についての理解を深め, EU 地域の比較経営論に多くの示唆を与えました。

#### 5. 講演会等概要

##### ① 特別セミナー 「中東ヨーロッパのポスト社会主義地域における人材管理」

日時: 2023 年 10月13日 (月) 10 時 50 分~12 時 30 分

会場: 明治大学リバティータワー1166 教室

参加人数: 56 名